下田南地区敬老会

下田南地区振興会だより　会報　小田床

濱﨑一芳、マコミ様御夫婦
入口武宣、シヅカ様御夫婦

式典、食事会の後
お楽しみの余興にはいります。

九月七日、下田南地区敬老会が開催されました。今年お元気で出席された方男性十二名、女性三十三名の計四十五名様でした。来賓の方臨席のもと、式典が厳かに取り行われました。今年は、金婚式を迎えられた二組の夫婦に、熊本日日新聞社から表彰状と記念品、天草市から記念品が贈られました。

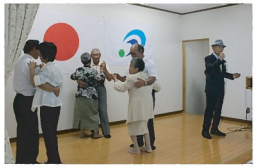
金婚夫婦

▶お姉ちゃんの石松千紗さんも「舞妓さん」を披露、毎年に上達、将来が楽しみです。

カラオケコーナーでは、上野幸子さんが「夫婦坂」を熱唱すると、その夫、章利氏が女装で舞台に上がり慣かしく踊りだす。様々な道を二人で乗り越えてきた息ぴったりの夫婦坂でした。

プログラムの演目、トップバッターは石松理紗さんの絵日傘、愛くるしい笑顔と踊りでした。

毎年恒例になりました、還暦五年生メンバー（和生、知、勝、忠久、松親、愛寛、良一、昭廣）「今年はフラダンスに挑戦、「瀬戸の花嫁」の曲に合わせて手振り腰振り、身振りよろしく、練習の成果が出ました。アンコールを呼び込みました。



社交ダンスではナイトクラブ雰囲気で酔いしれて踊るカップル達。

濱﨑御夫婦金婚受賞

「金婚さんいらっしゃい」では入口夫婦が出演、名司会の宇土さんとの掛け合いに会場は笑いの渦に包まれました。オンドリ人生五十年、歌の文句のまんまです。「ここの手離すないつまでも」と最後まで手を握り合っていました。

■発行 第３６号■
【発行責任者】
下田南地区振興会
会長 中村敏司
【連絡先】
下田南地区コミュニティセンター
42-3612

十五社宮例大祭

佃浜地区で、4年毎に廻ってくる座元。今年の佃浜は、8月末の座元会議から始まった。注連縄となる新藁の調達から、鏡餅をはじめお供物の手配、神宮依頼など。越度がないよう細部にわたって検討する。

一週間前に宮道の草刈り作業。前日は拝殿や石段を清掃し整える。高齢者ばかりで、かなりの重労働だ。半世紀も前になるが、日曜毎に子ども達で清掃していた事などを思い出す。古老の話しでは、昔は相撲も奉納され賑わっていたとか。慶長10年創立以来400年以上の長きに亘り、脈々と祀り続けた先人に思いを馳せるとき、疎かにはできない。

祭祀日は旧暦8月22日だが、現在は9月第3日曜日と定められ、今年は21日。朝から曇天のため集合場所を海岸から農協へ変更、全氏子で注連縄作り、飾り付けと続く。拝殿での神事が済み、懇親会が始まった頃から雨になったが、座元の仕事が滞りなく終了し安堵する。

人口減少と高齢化により、来年から佃と浜が一年置きに執り行うことが決定している。

【野口真澄】

私　故郷

佐世保在住　紙谷久美子（旧姓　佃）

今朝（十月一日）何気なくテレビ番組での事。

日本百景「熊本天草の青い海」のタイトルと、妙見ヶ浦、笠松瀬が目の中に飛び込んできた。波が激しく打ち寄せる洞窟。青い海の中を群れをなして泳ぎまわる魚。岩と海草の間を這い回る、がぜやたこが映しだされていた。私の小学校の頃の遠足は決まって妙見ヶ浦であった。が私の知らない海の中を画面いっぱいに見せて貰い感動のひとときであった。私が天草を離れたのが二十歳の時。兵庫県神戸市に就職をした。田舎娘が都会に出て、様々な苦い経験もした。今思えば懐かしく私にとっては天草に次ぐ第二の故郷である。当時の会社のＯＢ会が九月に開催された。天草出身の人も居り、共通の話題で盛り上りを見せた。ここのところ、イベント参加で多忙である。八月には下田中学校の古稀の同窓会が開催。いつの頃からか私達の同窓会は夫婦同伴が恒例となっていて我が夫も出席した。又、地元佐世保の敬老会では夫婦でハイヤ節を踊り、天草を大いにアピールした。私の中で故郷は、いつまでも生き続くであろう。

※出郷者の皆様、こんな話あんな話ちょっと良い話などをご投稿ください。

彼岸花

秋の実の田んぼの端や、道路の脇に彼岸花が咲いていました。この写真は下田南地区コミュニティセンターと上野の中上チヨネさん宅の前の写真です。

彼岸花とは花の一種である。別名は曼珠沙華（マンジュシャゲ）、地獄花、葬式花、死人花、ハッカケババアなど日本で最も別名が多い植物であると言われている。

実は有史前帰化植物であり、モグラなどにあぜ道に穴を開けられないよう畦道に植えられたと言われている。

独特の怪しげな雰囲気に魅了される人は絶えることはない。

ちなみに彼岸花の毒は水溶性のため水洗いして処理をした球根からデンプンを取って食べることもできる…が、そこまでして食べる勇気はない。実際、救荒作物であって飢餓や戦時中などの食糧不足の際に緊急的に食べられたそうです。

【中上初穂】

小田床情報板

11月
9日（日）…福連木子守唄
　　童謡まつり
16日（日）…鬼海山の神祭
22日（土）～23日（日）
　　…産業文化祭

12月
12/1（月）～1/6（火）
　　…イルミネーション装飾
14日（日）…中野山の神祭

編集後記

みなさま季節の変わり目や、気候の変化で体調は如何でしょうか？この度紙面をお借りしてお知らせさせていただきます。5月より、コミュニティーセンター向かいの元農協跡で黒にんにくの製造を始めました。販売もいたします。（建物周辺がにんにく臭いかと思いますがお許しください。）

生にんにくより栄養価も高くとても体によいとされ現在、沢山の方に購入していただいてます。宜しければ是非試食してください。冬に向けて冷え性の方や風邪予防にもお勧めします。これからも健康つくりの為そして、地域活性化の為に頑張りたいと思います。みなさま宜しくお願いいたします。

【関　好江】

善意　寄附金
中村　敏彦　様
濱田　伸広　様